

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 農林水産部

所属名 中山間農業・畜産課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
「さかほまれ地酒」消費拡大事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和5年度	令和10年度	1,800	—	1,289		511	継続
農村発イノベーション推進事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和6年度	令和10年度	51,672	—	11,614	4,216	35,842	縮減
都市農村交流促進事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	平成27年度	令和10年度	14,092	—		14,092		継続
㊦「中山間スコーラ」研修事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和8年度	令和10年度	4,646	—	1,729	16	2,901	—
中山間総合対策支援事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和4年度	令和8年度	146,199	—			146,199	縮減
農村RMO形成推進事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和6年度	令和8年度	22,000	—	22,000			継続
ふくいワイン事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	平成30年度	令和11年度	4,976	—	485	3,964	527	縮減
㊦中山間農業活性化支援事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和8年度	令和10年度	6,000	—			6,000	—
福井百歳やさい魅力向上事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和6年度	令和8年度	1,267	—			1,267	継続
鳥獣害のない里づくり推進事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	平成14年度	令和10年度	730,455	—	603,952	2,505	123,998	継続
畜産獣医師確保対策事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和4年度	令和18年度	5,295	—			5,295	継続
意欲あるふくいの畜産支援事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和5年度	令和8年度	33,560	—			33,560	継続
㊦若狭牛総合戦略策定事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和8年度	令和8年度	732	—	274		458	—
県産ブランド畜産物消費拡大PR事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和7年度	令和9年度	550	—	275		275	継続
米粉普及拡大推進事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和5年度	令和7年度		—				整理統合
里山里海湖ビジネス実践力強化事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和4年度	令和7年度		—				廃止
㊦配合飼料価格高騰対策事業	5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化	政策的経費	令和8年度	令和8年度	9,573	—	9,573			—
					1,032,817		651,191	24,793	356,833	

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和5年度
「さかほまれ地酒」消費拡大事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	福井県で開発された「さかほまれ」は、酒造好適米としての品質が高く、地酒単価も高くなるため、福井県酒造組合からも増産を求められている。さかほまれ栽培戦略会議による生産支援と、地酒の消費拡大支援を通じて、さかほまれのブランド価値を高め、さかほまれの増産と農家の所得向上を目指す。				
事業内容	(1) さかほまれ酒米生産増加・品質向上 ・さかほまれ栽培戦略会議の開催 (2) 飲食店さかほまれ地酒活用促進 ・飲食店向けさかほまれの現場を学ぶセミナーの開催 (3) さかほまれ地酒PR補助 ・飲食店、酒類業者が行うさかほまれPRに係る経費の補助				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,800	－	1,289		511
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	さかほまれ使用酒蔵場数	23	19	令和7年度
	活動指標	戦略会議・セミナー等の開催回数	7	6	令和7年度
事業評価	さかほまれ酒米生産量は前年に比べて増えたものの、主食用米の価格高騰や物価高に伴う消費伸び悩み等により、成果指標は目標を下回った。令和8年度からは、地酒のPR補助の対象に飲食店を加え、さかほまれ地酒のさらなる消費拡大を促すことで、目標達成を図る。 <事業実績> ・さかほまれ栽培戦略会議：4回 ・飲食店向けさかほまれの現場を学ぶセミナー：1回 ・酒造組合による県外のPRイベントへの出展：1回				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和6年度
農村発イノベーション推進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	農林漁業者と多様な事業者の連携を促し、農林水産物等の農村資源を活用した加工や体験等のコンテンツ強化を進めることで、農村への誘客を促進する。				
事業内容	<p>(1) 魅力あふれるコンテンツの強化</p> <p>①農村の魅力向上へのチャレンジ支援（実施主体：農林漁業者等、補助率：1/3）</p> <p>②魅力ある加工・体験・滞在施設等の整備支援（実施主体：農林漁業者等、補助率：1/3）</p> <p>③大規模農村資源活用施設（直売加工所等）の整備支援（実施主体：市町および農林漁業者等、補助率：3/10または1/2）</p> <p>(2) 農遊スタンプラリーの実施</p> <p>(3) 農遊コンシェルジュの強化（交流会・研修会）</p> <p>(4) ふくいローカルフードプロジェクト</p> <p>①農村資源を活用した新規ビジネス創出の支援</p> <p>②参加事業者による新ビジネス実施補助（実施主体：食品等事業者等、補助率：1/2または定額）</p> <p>(5) 新たな需要等に対応した商品開発支援（実施主体：市町および農林漁業者等、補助率：1/2または定額）</p> <p>(6) 農村資源を活用する事業者へのプランナー派遣</p> <p>(7) 6次産業化事業者の販路開拓支援</p> <p>①都市圏でのバイヤー向け商談会への出展</p> <p>②県外での新規取引開拓支援（実施主体：農林漁業者等、補助率：1/2）</p> <p>③県産統一ブランド「こめこのふくい」の周知拡大</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	51,672	－	11,614	4,216	35,842
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	交流人口の拡大（万人）	211	R8.9月末集計	令和7年度
	活動指標	新規のコンテンツ増加数	24	35（見込み）	令和7年度（累計）
事業評価	<p>各地域の普及指導員や関係機関と連携して取り組みを進めたことで、活動指標の新規コンテンツ（加工品、体験、農家民宿、農家レストラン等）増加数は目標どおり達成の見込み。成果指標の交流人口については、令和8年9月末に集計予定。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 新規ビジネス創出のための研修会：6回 6次産業化プランナーの派遣：35回 農遊スタンプラリーの実施：1回（参加者数：2,698人） 				
区分	縮減				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	平成27年度
都市農村交流促進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	農泊の魅力発信や、体験イベントを軸とした受入体制づくり、誘客に向けたコーディネート、研修会の開催など、農泊の拡大に取り組むことで、都市部と農村との交流拡大を図る。				
事業内容	(1) 情報発信の強化：都市農村交流員の設置・活動費等 (2) 受入体制の強化：受入農家等に対する研修会、ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワーク事務局の設置および運営等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	14,092	－		14,092	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	農家民宿新規開業件数	10	7	令和7年度
	活動指標	農家等を対象とした受入研修会回数	2	2	令和7年度
事業評価	農泊の魅力発信や受入農家に対する研修会等により、県内で新たに7件の農家民宿が開業に至った。令和8年度は、都市農村交流員およびエコ・グリーンツーリズムネットワークと連携し、さらなる農家民宿の開業をサポートしていく。				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和8年度
⑧ 「中山間スコラ」研修事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	地域資源を活用した生業の技術を学ぶ「中山間スコラ」を開講することにより、中山間地域における外部人材等の所得確保と定着・定住を促す。				
事業内容	(1) 受講生募集（チラシの作成・配布、PR活動） (2) 講座の開講 （コース：農家民宿、農家レストラン、ジビエ・狩猟、炭焼き、養蜂、放牧） (3) 開業に向けた専門家派遣				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,646	－	1,729	16	2,901
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	中山間地域資源を活用した生業の実践者	8人	－	令和8年度
	活動指標	中山間スコラ研修受講者数	27人	－	令和8年度
事業評価	－				
区分	－				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和4年度
中山間総合対策支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	中山間地域等の農村に人が住み続けるために、中山間地域の多様な担い手の育成および営農活動を支援する。				
事業内容	(1) 中山間地域の新規担い手支援 補助対象者：営農集団等 補助率：1/3（条件不利地1/2） (2) ICT等活用による中山間地域営農の超省力化推進 補助対象者：営農集団等 補助率：1/2 (3) 農業サポートセンターを核とした中山間の営農を継続させる体制づくり ①条件不利地の農作業受委託促進 補助対象者：農業者等 補助率：定額 ②農業サポートセンターの活動支援 補助対象者：農業サポートセンター 補助率：1/2 ③農業サポートセンターの機能強化に係る人件費支援 補助対象者：市町 補助率：1/2 ④農業ねこの手クラブの会員募集				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	146,199	－			146,199
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	農業の後継者が確保された集落数	759	759	令和7年度（累計）
		作業を10%以上省力化した集落数	152	152	令和7年度（累計）
	活動指標	集落戦略作成数	759	759	令和7年度（累計）
		年間支援集落数	152	152	令和7年度（累計）
事業評価	担い手育成や省力化に向けたハード支援、営農継続の体制づくりを通じ、成果指標の農業後継者が確保された集落数等を目標どおり達成することができた。 <事業実績>（令和7年度見込み） ・農業の後継者が確保された集落数 42集落 ・作業を10%以上省力化した集落数 38集落 ・集落戦略作成数 42集落 ・年間支援集落数 38集落				
区分	縮減				

	農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度	
2 成長を創る（産業力）			経費区分	政策的経費	
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化			事業開始年度	令和6年度	
農村RMO形成推進事業			事業終了年度	令和8年度	
事業目的	中山間地域等において、農村集落の機能を補完する農村型地域運営組織（農村RMO）の形成により地域で支え合うむらづくりを推進する。				
事業内容	(1) 伴走支援体制の構築や農村RMOのきっかけとなる活動への支援 (2) 将来ビジョンの策定、ビジョンに基づく調査、計画策定、実証事業等 ①一般型：将来ビジョンの策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等 ②活動着手支援型：農村RMOの裾野を広げるため、農村RMOの形成につなげる各種活動に対するスタートアップ支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	22,000	－	22,000		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	農村型地域運営組織モデル形成支援数	2	2	令和7年度
	活動指標	農村型地域運営組織形成伴走支援数	5	4	令和7年度
事業評価	研修会の開催やモデル育成地区への支援等により、農村RMOの形成に向けた取組が進んだ。 <事業実績>（令和7年度見込み） ・農村型地域運営組織モデル形成支援数 2地区 ・農村型地域運営組織形成伴走支援数 4地区				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	平成30年度
ふくいワイン事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	県産ワインの生産者を育成し、栽培のスタートアップ、委託醸造、販売促進及びワイナリー整備にかかる費用を支援することで、「ふくいワイン」による中山間地域の振興を図る。				
事業内容	<p>(1) 研修事業</p> <p>①実践コース 【対象者】福井で新たにワイン生産を希望する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワインブドウ栽培研修：研修生自らが専用の圃場を管理する実践的な技術研修 ・ワイン醸造研修：県内のワイナリーで自らのタンクを管理し、実践的な醸造経験を積む研修 ・座学研修：ワインブドウ栽培やワイン醸造の第一人者を講師に招き、栽培・醸造・販売の知識や技術を習得する研修 <p>②教養コース 【対象者】県内在住でワイン生産の専門的な知識を幅広く学びたい者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践コースの座学研修の一部を公開講座として実施 <p>(2) ふくいワイン生産拡大事業</p> <p>①ふくいワインスタートアップ支援 栽培のスタートアップ、委託醸造、販売促進等の経費を補助 補助対象：ワインカレッジ修了生等 補助率：1/3 補助上限：50万円</p> <p>②ワイナリー整備支援 補助対象：ワインカレッジ修了生等 補助率：1/10 補助内容：ふくいワイン生産のためのワイナリー整備にかかる経費の補助</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,976	－	485	3,964	527
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新規県産ワイン醸造本数	16,800本	16,800本	令和7年度
	活動指標	ワインカレッジ研修受講者	30人	18人	令和7年度
事業評価	栽培のスタートアップ支援など事業を拡充したことにより、成果指標の新規県産ワイン醸造本数は目標どおり達成。令和8年度は、カリキュラムの見直しなどを通じて研修受講者数を増加させていく。 <事業実績> ・新規県産ワイン醸造本数：16,800本 うち、修了生本数：5,035本 受講生本数：212本				
区分	縮減				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和8年度
⑧ 中山間農業活性化支援事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	J A職員等を集落支援員に委嘱し、中山間地域における営農継続や集落機能の維持に向けた取組を支援する。				
事業内容	営農や特産品加工、販売等の分野など地域に精通しているJ A職員等を集落支援員として委嘱し、農村活性化をサポート				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,000	—			6,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	農村型地域運営組織モデル形成支援数	2	—	令和8年度
	活動指標	集落支援員設置数（人）	15	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和6年度
福井百歳やさしい魅力向上事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	福井独自の伝統野菜「福井百歳やさしい」を継承・発展させていくために、直売所への出荷促進を図り、消費者や生産者に「福井百歳やさしい」の魅力や価値が伝わるような加工品の開発、PR等を支援する。				
事業内容	出荷促進支援、加工品開発支援、PR等、「福井百歳やさしい」の魅力向上につながる活動を支援 補助率：1/2 補助限度額：20万円/組織				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,267	－			1,267
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	直売所等への販売額（百万円）	13	13	令和7年度
	活動指標	支援団体数	10	9	令和7年度
事業評価	各生産者が出荷促進や加工品開発、販売PR等に取り組んだことで、直売所等への販売額が増加した。次年度も引き続き、「福井百歳やさしい」の魅力向上に係る各種活動への支援を実施していく。 <事業実績> ・令和7年度支援品目：新保ナス、吉川ナス、妙金ナス、山内かぶら、河内赤かぶら、郡水菜、北市水菜、越前白茎ごぼう、カワズウリ				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	平成14年度
鳥獣害のない里づくり推進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	イノシシ・シカ等による鳥獣害を削減するため、被害対策の3本柱である被害防除・個体数調整・生息地管理を効果的に組み合わせた対策を実施する。				
事業内容	(1) 被害防除 ①鳥獣被害防止総合対策交付金（金網柵の整備等） ②ネット柵、電気柵、小規模金網柵の整備支援 ③侵入防止柵の更新支援事業 (2) 個体数調整 ①有害獣の捕獲経費の助成 ②第二種特定鳥獣管理計画の推進 ③獣肉の利活用推進 (3) 体制強化 ①集落リーダー等育成研修会 ②サル対策体制強化支援事業 ③鳥獣害対策強化事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	730,455	－	603,952	2,505	123,998
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	総被害面積 (ha)	107	R8.4月末集計	令和7年度
	活動指標	有害鳥獣捕獲頭数	23,165	R8.4月末集計	令和7年度
事業評価	電気柵、ネット柵、金網柵設置など、農地、里地への侵入を防ぐ対策を講じることで被害防除を進め、有害獣の生息状況に応じた捕獲等を実施することで個体数調整を推進した。さらに、農作物収穫後の残渣処理や放任果樹の伐採、サルの追い払い活動等を複数集落で連携して行う体制を整えることで、地域ぐるみの鳥獣害対策を強化することができた。 <事業実績> ・侵入防止柵の整備見込距離：46.4km（金網柵41.1km、電気柵4.5km、ネット柵0.8km） ・捕獲見込み頭数：約19,442頭（市町の有害捕獲約18,800頭、県事業642頭）				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和4年度
畜産獣医師確保対策事業				事業終了年度	令和18年度
事業目的	将来、福井県の畜産獣医師として一定期間勤務することを条件に、全額返還免除型の修学資金を学生に対して給付することで、近年、必要定数を確保できていない獣医師職員を確保することを目指す。				
事業内容	<p>(1) 高校生向け修学金給付 内 容：大学進学にかかる費用（入学金、1年次前期授業料、実習費等）1,750千円以内の給付 募集人数：1名 補助率：国1/2、県1/2</p> <p>(2) 獣医学生向け修学金給付(4～6年生) 内 容：私立大学生月額180千円以内、国公立大学生月額100千円以内の給付 募集人数：2名</p> <p>(3) 事務委託費 内 容：県畜産協会への高校生向け修学資金に係る事務の委託</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,295	－			5,295
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	正規職員獣医師数	28人	26人	令和7年度
	活動指標	高校生向け修学資金給付	1	1	令和7年度
獣医学生向け修学資金給付		1	1	令和7年度	
事業評価	高校生等に本事業の広報活動を広く実施したことで、高校生向け、獣医学生向けともに複数名の応募があった。令和7年度は高校生枠1名、大学生枠1名を修学生として選定した。これにより将来の県獣医師職員の確保に大きく寄与できた。				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和5年度
意欲あるふくいの畜産支援事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	県産ブランド畜産物の生産拡大のため、大規模経営体の育成と企業の誘致等を進めるとともに、ICT関連機械等の導入を支援し、省力化・効率化を図る。また、飼料高騰対策として、自給飼料生産拡大に係る機械導入を支援し、輸入に頼らない持続可能な畜産経営を目指す。				
事業内容	<p>(1) 大規模畜産施設整備（国庫活用枠）</p> <p>①畜産関連施設整備 補助要件：飼養頭数を若狭牛100頭以上、乳用牛40頭以上、ふくいポーク600頭以上増やすこと 補助率：国1/2、県1/6</p> <p>②生産奨励（県産ブランド畜産物にかかる家畜導入経費の支援） 補助要件：県産ブランド家畜を新たに飼養すること（事業採択年度の1年に限る） 補助額：家畜導入経費 素牛6万円/頭、繁殖豚1万円/頭</p> <p>③U・Iターン者を雇用 補助要件：U・Iターン者を雇用すること 補助額：50万円/人</p> <p>(2) ブランド生産拡大 補助要件：県産ブランド畜産物の飼養頭羽数を1割以上増やすこと 補助率：県1/3</p> <p>(3) 自給飼料生産拡大 補助要件：自給飼料生産量を増やすこと、飼料生産組織等の場合は県内農家に販売すること 補助率：県1/3</p> <p>(4) スマート畜産 補助要件：生産コストの削減もしくは労働時間の短縮が図られること 補助率：県1/3</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	33,560	－			33,560
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内畜産生産額（千円）	59	R8.12月末集計	令和7年度
	活動指標	事業活用件数	30	27	令和7年度（累計）
事業評価	<p>規模拡大や自給飼料への転換が進んでいるが、飼料価格高騰等の影響により投資意欲が低下し、事業要望取り下げが3件あった。</p> <p><R7事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド生産拡大 4件 ・自給飼料生産拡大 2件 ・スマート畜産 1件 				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和8年度
⑧ 若狭牛総合戦略策定事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	若狭牛の生産基盤やブランド力強化、販路戦略の方向性等の若狭牛生産振興に関する総合的なプランを策定し、今後の事業展開に反映させる。				
事業内容	(1) 若狭牛総合戦略の作成会議の開催 (2) マーケティング講習会の開催 (3) 先進地域現地視察				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	732	－	274		458
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	総合戦略の策定（回）	1	－	令和8年度
	活動指標	会議等の開催（回）	4	－	令和8年度
事業評価	－				
区分	－				

	農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度	
2 成長を創る（産業力）			経費区分	政策的経費	
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化			事業開始年度	令和7年度	
県産ブランド畜産物消費拡大PR事業			事業終了年度	令和9年度	
事業目的	集客力や話題性のある県内施設を活用してブランド畜産物の試食販売することで、年間を通して県民向けに福井県産ブランド畜産物をPRするとともに、県内精肉店を巡るスタンプラリーを開催することで、福井県産ブランド畜産物消費拡大と消費行動定着化につなげ、畜産振興を図る。				
事業内容	<p>(1) 人気施設を活用した県内向け福井県産ブランド畜産物PR 直売所「トレタス」や敦賀駅周辺など、集客力と話題性がある施設を活用し、福井県産ブランド畜産物の認知度向上と消費を拡大させるPRイベントを開催</p> <p>(2) 県内精肉店をめぐるスタンプラリーの開催 県内に所在する県産ブランド畜産物を扱う精肉店20店舗を対象とし、スタンプラリーを開催することで、客の回遊を促し、売り上げの向上につなげる。</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	550	－	275		275
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	若狭牛、ふくいポーク、福地鶏の生産額	11.3億円	R8.5月末集計	令和7年度
	活動指標	PRイベント集客数	9,000人	8,600人	令和7年度
事業評価	<p>嶺南で実施したPRイベントが荒天の影響で集客が伸びなかったものの、おおむね活動指標を満たした。若狭牛等のブランド畜産物の振る舞いとスタンプラリーの開催により購買意欲が向上し、直売所等における売上向上につながった。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRイベント集客数 約8,600人 ・スタンプラリー 約1,500人 				
区分	継続				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和7年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和5年度
米粉普及拡大推進事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	米粉の生産、使用における農家及び食品加工業者の課題を取り除き、米粉普及拡大に取り組むことで、農家の加工用米の増産とそれに伴う所得向上に貢献する。				
事業内容	(1) 米をテーマとした新規ビジネス創出の支援 研修会、戦略会議の開催 米粉統一ブランド「こめこのふくい」の周知拡大 県産米粉の特性分析支援 (2) 米粉新商品開発にかかる経費の補助 米粉を活用した新たな商品開発に係る費用を支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,577	－			2,577
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	米粉新商品開発数（個）	10	12（見込み）	令和7年度（累計）
	活動指標	新規米粉用米生産者（人）	4	4（見込み）	令和7年度
事業評価	福井県産米粉ブランド「こめこのふくい」の周知拡大及び県産米粉新商品開発の支援により、成果指標の米粉新商品開発数は目標どおり達成した。令和8年度からは、農村発イノベーション推進事業に整理統合し、「こめこのふくい」のさらなる認知度向上、開発した商品の販路拡大に取り組む。 <事業実績> 令和7年度に開発した米粉新商品 ・玄米粉入り米粉パン（ことことkoto.koto.） ・山うに米粉かりんとう かたいけの（郷土菓子処 香月） ・米粉の恐竜チョコサブレ（いのうえ(株)恐竜菓子店） ・米粉マフィン、米粉クロワッサンクルンジサンド（JA福井県経済連TRETAS）				
区分	整理統合				

	農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和7年度	
2 成長を創る（産業力）			経費区分	政策的経費	
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化			事業開始年度	令和4年度	
里山里海湖ビジネス実践力強化事業			事業終了年度	令和7年度	
事業目的	里山里海湖ビジネス実践者の掘り起しを行うとともに、ビジネス実践者が抱える課題の解決を継続的に支援することで、中山間地での交流人口を拡大させ、地域の活性化及び農家所得の向上を図る。				
事業内容	(1) 里山里海湖ビジネス実践者の掘り起しの研修 (2) 里山里海湖ビジネス実践者の課題解決を支援 ①現地での課題解決に向けたアドバイス支援 ②課題に応じた専門家講師を派遣 ③フォローアップのための専門家派遣				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,365	－	1,800	564	1,001
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	農家レストラン、農家民宿の新規開業件数	289	271	令和7年度
	活動指標	里山里海湖ビジネス研修受講者	200	62	令和7年度
事業評価	研修会や専門家派遣により、農家レストランおよび農家民宿の開業につなげることができた。令和8年度からは、中山間地域の地域資源を活かした副業を学ぶ「中山間スコーラ」を開講し、里山里海湖ビジネス実践者のさらなる掘り起し、より実践的な研修カリキュラムによる開業支援を行う。 <事業実績> ・農家レストラン、農家民宿の新規開業件数：271件 ・里山里海湖ビジネス研修受講者：62名				
区分	廃止				

		農林水産部	中山間農業・畜産課	事業年度	令和8年度
2 成長を創る（産業力）				経費区分	政策的経費
5 稼げる農林水産業で農山漁村の活性化				事業開始年度	令和8年度
⑧ 配合飼料価格高騰対策事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	配合飼料価格の急激な上昇による畜産経営への影響を緩和するため、配合飼料購入を支援する。				
事業内容	令和7年度に配合飼料価格安定制度へ加入しているまたは令和8年度加入予定の畜産農家を対象に、令和8年1～3月に購入する配合飼料の経費を一部支援する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,573	－	9,573		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	－	－	－	
	活動指標	－	－	－	
事業評価	－				
区分	－				